



平成 25 年 5 月 14 日

各 位

会 社 名 昭和電線ホールディングス株式会社
代表者名 取締役社長 相原 雅憲
(コード番号 5805 東証第1部)
問合せ先 経営企画部 IR・広報グループ長 菅井 幹夫
(TEL. 03-5404-6951)

特別損失の計上および 通期業績予想と実績との差異に関するお知らせ

平成 25 年 3 月期において、下記のとおり特別損失を計上するとともに、平成 25 年 3 月 21 日に公表いたしました平成 25 年 3 月期（平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日）の業績予想と実績との間に差異が生じたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上

・減損損失（連結）

国内の需要が低迷する電力システム事業、コミュニケーションシステム事業、巻線事業について、関連する資産の減損損失として、43 億 48 百万円を特別損失に計上いたします。

・事業構造改善費用（連結）

連結子会社の宮崎電線工業株式会社の解散や早期退職優遇制度の実施に伴い発生が見込まれる費用について、事業構造改善費用として、15 億 76 百万円を特別損失に計上いたします。

2. 通期業績予想と実績との差異

(1) 通期連結業績予想と実績との差異の内容（平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日）

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	一株当たり当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	170,000	800	△ 800	△ 6,800	△22 ^円 07 ^銭
今 回 修 正 予 想 (B)	169,798	1,126	△ 847	△ 6,365	△20 ^円 66 ^銭
増 減 額 (B-A)	△ 202	326	△ 47	435	
増 減 率 (%)	△ 0.1	40.8	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成 24 年 3 月期)	171,780	1,945	693	162	0 ^円 57 ^銭

(2) 修正の理由

当社グループの平成 25 年 3 月期の連結業績は、第 4 四半期に入り概ね堅調に推移しましたが、営業利益は、経費削減等の取り組みにより前回予想を上回りました。また、当期純損失は、第 4 四半期に上記の特別損失を計上したことから前回予想よりも縮小しました。

以 上

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。